

## 丹沢大山における自然再生の取組の現場訪問の実施結果について

神奈川県北西部に広がる丹沢大山地域では、「人も自然もいきいきとした丹沢大山」の再生を目指して、県民や専門家、企業、行政等が力を合わせて、自然の恵みの豊かさを取り戻すための総合的な自然再生事業に着手しています。

5月22日(金)のウイークリー現場訪問では、丹沢山北東部の自然再生事業の現場を「かながわ環境大使」の白井貴子さんとともに訪問し、県と力を合わせて豊かな自然の再生を目指している丹沢大山自然再生委員会の木平委員長や県の事業担当者の説明を受けながら鬱蒼としたブナ林の再生に向けた取組の状況を視察しました。

### (人工林の下草の回復状況を視察)



丹沢山北東部の「堂平地区」で森林の下草の回復状況を観察し、人工林整備とシカの保護管理を組み合わせた事業の効果について説明を受けました。

下草が衰退し、土壌流出が深刻化している堂平地区のブナ林で、環境や景観への影響が少ない工法を組み合わせ、シカによる植生の採食や、落葉や土の流出を防いでいる土壌保全対策事業の現場を視察しました。

### (土壌流出対策事業現場を視察)



### (県民協働による取組現場を視察)



堂平地区では、県の自然再生事業に先駆けて、県民の手で、シカがウラジロモミなどの樹木の皮を食べて枯らしてしまうのを防ぐため、防護ネットが設置されていました。

丹沢の自然の豊かさを取り戻すために、多くの県民や専門家、企業、行政などが知恵と力を合わせて取り組んでいる「丹沢大山自然再生委員会」の目的や活動、今後の展望について木平勇吉委員長から説明を受けました。

(丹沢大山自然再生委員会の説明を聞く)



(稜線に広がるブナ林衰退の現場にて)



かつてここが深い森林だったということが想像つかないほど草原化が進んだブナ林の立ち枯れ現場に実際に立ち、深刻な森林衰退の現状と要因解明に向けた取組について説明を受けました。

(丹沢山山頂で清川村長とあいさつ)

丹沢山の山頂では、現地調査に訪れた清川村の村長さんとお会いしました。



問い合わせ先

神奈川県環境農政部緑政課	課長代理	西口
電話	045-210-4302(ダイヤル)	
神奈川県環境農政部緑政課自然公園班		福島
電話	045-210-4315(ダイヤル)	